

授業科目名	プレゼン演習		科目コード	501	
開講クラス	国際ビジネス科	コース	国際IT情報 国際ホテル観光	学 年	2年
担当教員	大田 誠吾				
	実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) 実務経験内容 IT 関連企業勤務				
開講時期 1コマ45分	前期・後期・ <input checked="" type="radio"/> 通年) 特別講義・その他		授業コマ数	68コマ	
	<input checked="" type="radio"/> 必須) ・ 選 択 ・ 選択必須		時 間 数	68時間	
使 用 テキスト1	書 名	「プレゼンテーション」基礎講座			
	著 者	長沢朋哉			
	出版社	日本実業出版社			
使 用 テキスト2	書 名	学校でも会社でも教えてくれない企画・プレゼン超入門			
	著 者				
	出版社	Discover			
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義) ・ <input checked="" type="radio"/> 演習) ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> 就活時の面接で自己PRの向上, 入社後企画提案などに支障の無いようなアイディアの出し方 文書・資料作成を身に付ける。					
<授業の概要・授業方針> 単元ごとにテキストに沿って説明, 解説を行った後, 課題へ取り組ませ, 身に付けさせていく。					
<成績基準・評価基準> 授業態度や課題状況などを加味しながら4段階評価 (優・良・可・不可) にて評価する。					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名		プレゼン演習	
回	授業内容		備考
1	企画の目的とは		
2	企画の相手は誰を考える		
3	情報を集めて現状を分析しよう		
4	相手の現状を知ろう		
5	企画課題って何なのか		
6	企画のアイデアの出し方		
7	企画のアイデアの出し方 演習		
8	企画のコンセプトとは		
9	企画をどうやって具体的に施策するのか		
10	企画書の目的(誰が、何のために読むのか)		
11	企画書にストーリーを盛り込む		
12	思わず読みたくなる企画書とは		
13	演習問題:企画書を作ってみよう①		
14	演習問題:企画書を作ってみよう②		
15	プレゼンの本質と全体(3つの具体的手段)		
16	プレゼンの本質と全体(目と耳に訴える要素)		
17	プレゼンの類型(目的別・課題別・人数別)		
18	学びのフレーム(相手に何を伝えるのか「主張」)		
19	学びのフレーム(どう資料にするのか「分析と主張」)		
20	学びのフレーム(どう話し、どう見せるのか)		
21	学びのフレーム(自信を持ったプレゼン法とは)		
22	学びのフレーム(プレゼンの山場とは何か)		
23	学びのフレーム(「山場」を決めるためにどうするか)		
24	学びのフレーム(プレゼンはエンターテインメントだ)		
25	学びのフレーム(エンターテインメントとは何か)		
26	学びのフレーム(まとめ)		
27	プレゼンの技術(資料作りの技術)		
28	プレゼンの技術(ストーリーを作る技術)		
29	プレゼンの技術(プレゼン資料と調査レポートの比較)		
30	プレゼンの技術(ストーリーの構成要素)		
31	プレゼンの技術(ストーリーの基本構造)		
32	プレゼンの技術(「分析」と「主張」の中身)		

回		備考
33	プレゼンの技術(ストーリー作りの「行動」と「思考」のパターン)	
34	プレゼンの技術(キー・ファインディングスとは)	
35	プレゼンの技術(作業の順番についての原則と実際)	
36	プレゼンの技術(考えがまとまらない時のコツ)	
37	プレゼンの技術(枚数が多くなってきた時のコツ)	
38	プレゼンの技術(ラフストーリーの構造例)	
39	プレゼンの技術(ラフストーリーのブラッシュアップ方法)	
40	プレゼンの技術(ストーリーにおける結論の位置「前」か「後」)	
41	プレゼンの技術(結論が「前」のパターンの特徴)	
42	プレゼンの技術(結論が「後」のパターンの特徴)	
43	プレゼンの技術(接続詞の技術「よく使われる接続詞」と意味)	
44	プレゼンの技術(ストーリー作成時の表紙やタイトル・目次)	
45	プレゼンの技術(ページを作る技術「基本レイアウト」)	
46	プレゼンの技術(ページを作る技術「山場ページのレイアウト」)	
47	プレゼンの技術(ページを作る技術「Z型アイ・フロー」)	
48	プレゼンの技術(ページを作る技術「1行当たりの文字数」)	
49	プレゼンの技術(ページを作る技術「ボックスと矢印」)	
50	プレゼンの技術(ページを作る技術「数字」)	
51	プレゼンの技術(ページを作る技術「キーワード」)	
52	プレゼンの技術(ページを作る技術「ビジュアル・エイド」)	
53	プレゼンの技術(ページを作る技術「フォントや色数・文字サイズ」)	
54	プレゼンの技術(ページを作る技術「グラフやアニメーション」)	
55	プレゼンの技術(ページを作る技術) 演習	
56	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」「雰囲気」)	
57	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」「雰囲気」) 演習	
58	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」)	
59	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」) 演習	
60	話す・見せる技術(時間配分とタイムキーピング)	
61	話す・見せる技術(緊張対策・質疑応答対応)	
62	プレゼンテーションのコツ①(プレゼンの狙い)	
63	プレゼンテーションのコツ②(プレゼンと企画書の説明の違い)	
64	プレゼンテーションのコツ③(プレゼンの構成要素)	
65	プレゼンテーションのコツ④(プレゼン用のスライド作成)	
66	プレゼンテーションのコツ⑤(プレゼンターの話し方)	

(学)九州総合学院
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
2024年度 授業シラバス

67	プレゼンテーションのコツ⑥(リハーサルの必要性)	
68	演習問題：プレゼンをやってみよう(鹿児島への観光客誘致案)	
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		